

日本モンゴル学会秋季大会プログラム  
2021年11月13日13時から17時半まで

総合司会：村岡 倫（龍谷大学）

開会の辞（会長） (13:00~13:05)

第1部 基調講演 司会：橋 誠（下関市立大学）

バトサイハン（モンゴル科学アカデミー、国際関係研究所） (13:05-13:40)

「1911年と1921年のモンゴル革命の違いとは何か？」（モンゴル語・通訳付き）

〔ブレイク10分〕

第2部 研究発表 座長：萩原 守（神戸大学）

発表1 ウルルード・ズンベル（昭和女子大学・博士後期課程） (13:50-14:15)

「1912年の「露蒙協定」におけるモンゴル語術語の分析」

発表2 ハスチムガ（近衛飛鳥）（千葉工業大学・教学センター職員） (14:15-14:40)

「内モンゴルにおける聖母聖心会の衛生・医療活動に関する研究」

発表3 白那日蘇（神戸大学・博士後期課程） (14:40-15:05)

「蒙疆政権下の軍事人材育成機構について」

発表4 ウニル（滋賀県立大学・博士後期課程） (15:05-15:30)

「20世紀初頭における東部内モンゴルの天然ソーダ資源の市場化」

〔ブレイク10分〕

第3部 研究発表 座長：ブレンサイン（滋賀県立大学）

発表5 エルデネバト（モンゴル国立大学教授） (15:40-16:05)

「モンゴルにおける仏教の後期発展期に属する「ドブジョー」という遺跡について」

発表6 渡邊三津子（奈良女子大学・協力研究員）ほか 歴史地理学 (16:05-16:30)

「古写真の比較分析に基づくウランバートルの景観変化検証の試み」

発表7 ジャルガルサイハン・ラマー（大阪大学・博士後期課程） (16:30-16:55)

「モンゴル国における野生動物資源の利用と保全の相克例を中心に」

発表8 アリョントヤ（早稲田大学・招へい研究員） (16:55-17:20)

「モンゴルにおけるコロナ禍の現状：医療・経済・政治体制の対応策からみえてくる課題」

閉会の辞（総合司会） (17:20-17:30)